

2017年度東海地区協議会研究会運営委員会 準備会議事録

日 時： 2017年2月17日（金）15時～16時30分

場 所： 日本福祉大学 東海キャンパス 6階 会議室 5

出席者： 沖・前田（同朋大学・名古屋造形大学）、尾崎・澤木（名古屋女子大学）、
中村・古田（愛知大学）、榊岡（愛知工業大学）、田中（金城学院大学）、
山際（皇學館大学）、近藤（中部大学）、石川（東海学園大学）、
中田（名古屋学院大学）、石田（南山大学）、大橋（人間環境大学）、
佐藤・石川（日本福祉大学） （12校 16名出席）

欠席者： 林（人間環境大学） 敬称略

議事に先立ち出席者による自己紹介がなされた。なお、2016年度委員長校の愛知大学より中村委員長が同席されている旨紹介があった。

議事進行は、2017年度委員長校となる日本福祉大学の佐藤委員が担当した。

議題

1. 東海地区協議会研究会について

2017年度委員長校予定の日本福祉大学（以下委員長校）より、研究会運営委員名簿の確認と、私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会規程に基づいた事業内容の説明及び研修会一覧に基づき2015・2016年度研究会活動の報告があった。

研究会活動における2015年度第2回研究会で、見学報告者氏名の記載がなく運営委員担当となっているとの指摘があり、報告者氏名（尾崎委員、小木曾委員）を記載することです承された。

2. 2017年度事業計画（案）について

①事業全体について

委員長校より、事業全体について提案があり、研究会、見学会を開催し、『館灯』の発行を行うことを確認した。

②研究会について

委員長校より、研究会について提案があり、以下のとおり確認した。

- ・研究会テーマを「大学図書館における障害学生支援 ～障害者差別解消法の施行を踏まえ～」とし、各大学における合理的配慮の提供についてどうあるべきかを研究する。
- ・研究会は11月10日（金）に東海学園大学名古屋キャンパスにおいて行う予定として会場校と確認する。講演会の講師として、研究会テーマに関係した分野ご専門の松原洋子氏（立命館大学大学院先端総合学術研究科教授）を招き、講演いただく。研究会全体の中身については今後検討していく。

③見学会について

委員長校より、見学会日程は9月8日（金）、見学場所は2大学とし、うち1大学を立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館、もう1大学については同志社大学今出川キャンパス良心館ラーニングコモンズとし、先方の都合上、運用等に関する説明や館内案内はなく、自由見学とする旨提案があった。また、現地集合、現地解散とすることも併せて提案があった。

見学会日程は提案どおり9月8日（金）とし、見学場所について、1つを立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館とすることを確認した。

もう1大学については、同志社大学今出川キャンパス良心館ラーニングコモンズを第1候補としつつ自由見学とせず、学習支援の取り組みなど、運用面についても知る機会とすることが重要との意見が出され、例えば5年前のオープンから今日までの取り組み状況や課題など運用面に関する説明、及び施設の案内を行ってもらえないか同志社大学側と調整することとなった。調整結果を踏まえ、同志社大学または龍谷大学深草キャンパス和顔館ラーニングコモンズのいずれかとすることを確認した。

また、現地集合、現地解散にかかわり、交通渋滞や天候の影響などのリスクはあるが、バスを利用することも含めて考えてはどうかとの意見が出され、京都駅集合・京都駅解散（京都駅までの旅費は各自負担）とし、京都駅より貸切バスをチャーターする方向で調整することとなった。

④アンケートについて

委員長校より、とくにアンケートを実施すべき事項がなければ2017年度は実施しない旨提案があり、提案どおり2017年度はアンケートを実施しないことを確認した。

⑤館灯（56号）発行について

委員長校より、館灯（56号）発行について提案があり、提案どおり2018年3月末に、副幹事校の名古屋女子大学が編集担当として発行することを確認した。

なお、2017年度より冊子発行を中止する（予定）との説明に対し、常任幹事会で審議されるとの指摘があり、（予定）ではなく（検討中）との認識で了承された。

『館灯』データのウェブサイトへの登録に関連し、2016年度コンテンツ担当より、別紙資料に基づき、東海地区協議会ホームページ関連業務の実施報告があった。NII-ELSからJ-STAGEへのデータ移行にかかわり、2017年2月15日に、第38号から第54号まで公開を完了した旨報告があり、了承された。

⑥その他

2017年度運営委員会日程の提案について意見が出され、4月・8月・10月・2月に行う予定とすることを確認した。

3. 役割分担（案）について

委員長校より、資料に基づき、役割分担について提案があった。

提案に対し、見学会担当人数が少ないとの意見があり、名古屋女子大学の尾崎委員か

ら申し出があり、見学会担当業務の状況に応じて館灯担当と併せて担当いただける旨了承された。

また、ウェブサイト担当については名称をコンテンツ担当とし、担当人数も少なく、今後の安定的な運用継続を見据え、次に引き継げる大学（委員）に担当してもらったらどうかとの意見が出され、（2019 主幹事校・2020 年度副幹事校となる）人間環境大学の林委員に担当いただくようお願いすることとなった。それ以外は提案どおり了承された。

※出された意見等を踏まえると、以下のような役割分担となる。

<役割分担> ※（ ）内は人数

- ・研究会担当(5) (主幹事校) 同朋大学【前田、(未定)】、愛知大学【古田】、愛知工業大学【榊岡】、東海学園大学【石川】、名古屋学院大学【中田】
- ・館灯担当(2) (副幹事校) 名古屋女子大学【尾崎、澤木】
- ・見学会担当(3) 皇學館大学【山際】、中部大学【近藤】、名古屋女子大学【尾崎】(仮)
- ・コンテンツ担当(3) 金城学院大学【田中】、南山大学【石田 (未定)】、人間環境大学【林】(仮)

4. その他

次回 2017 年度第 1 回運営委員会は 4 月開催とし、改めてメール等で日程調整を行うことを確認した。

以上

記録者：日本福祉大学 石川